

**製品名: CD38 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab08380**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	35kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CD38
別名	CD38; ADP-ribosyl cyclase 1; Cyclic ADP-ribose hydrolase 1; cADPr hydrolase 1; T10; CD38
遺伝子 ID	952.0
SwissProt ID	P28907
免疫原	抗血清はヒト CD38 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 211-260

**背景**

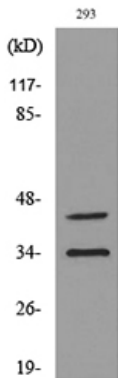
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、細胞内カルシウムイオン動員メッセンジャーである環状アデノシン 5'-二リン酸リ

ポースを合成・加水分解する、系統非依存型の II 型膜貫通糖タンパク質です。可溶性タンパク質の放出と膜結合タンパク質の細胞内移行能は、このタンパク質が細胞外および細胞内の両方で機能していることを示唆しています。このタンパク質は、N 末端細胞質側鎖、単一の膜貫通ドメイン、および 4 つの N-グリコシル化部位を含む C 末端細胞外領域を有しています。結晶構造解析により、この機能分子は二量体であり、中央部分に触媒部位が含まれていることが示されています。慢性リンパ性白血病患者の予後マーカーとして用いられています。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。 [RefSeq 提供、2015 年 9 月],触媒活性:  $\text{NAD}(+) + \text{H}_2\text{O} = \text{ADP-リボース} + \text{ニコチンアミド}$ 。発生段階: B 細胞および T 細胞成熟の初期段階と後期段階の両方で優先的に発現する。骨髄中の赤血球系および骨髄系前駆細胞にも検出され、芽球形成ユニット E からコロニー形成ユニット E への分化過程で表面発現レベルが低下することが示されている。酵素制御: ATP は加水分解活性を阻害する。機能: グルコース誘導性インスリン分泌のセカンドメッセンジャーである環状 ADP-リボースを合成する。また、cADPr 加水分解酵素活性も有する。免疫系の細胞内の受容体としても機能します。オンライン情報:CD38 エントリ,類似性:ADP-リボシルシクラーゼ ファミリーに属します。組織特異性:脾臓、肝臓、腎臓、脳、精巣、卵巣、胎盤、悪性リンパ腫、神経芽腫で高レベルで発現します。、

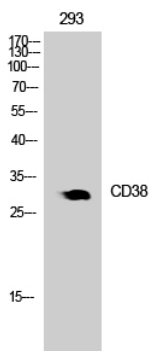
## 研究分野

ニコチン酸およびニコチンアミドの代謝;カルシウム;造血細胞系統;

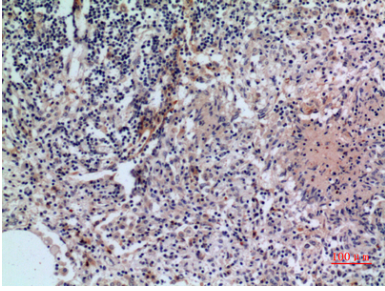
## 画像データ



CD38 抗体を使用した 293 細胞溶解液のウエスタンブロット分析。



CD38 ポリクローナル抗体を使用した 293 細胞のウエスタン ブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈されました。



パラフィン包埋ヒト肺の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された